

北方四島「戦争で取り返す 賛成か反対か」

維新の丸山議員、元島民に質問

北方四島ビザなし交流の訪問団の一員として同行した日本維新の会の丸山穂高衆院議員（大阪19区）が、国後島訪問中の11日夜、北方四島の返還に関し、「戦争しないと、どうしようもありませんか」と訪問団の団長に詰め寄るなどして、訪問団から抗議を受けていたことがわかった。

同行記者団などによると、公式行事が終わった11日夜、国後島の施設「友好の家」で懇談中、丸山議員が元国後島民の大塚小彌太団長（89）に「戦争でこの島を取り返すのは賛成ですか、反対ですか」などと大声で質問。団長が「戦争はすべきではない」と答えたが、戦争しないとどうしようもないとの発言を返した。丸山議員は酒に酔っており、その後も大声で議論を続け、決まりに反して友好の家の敷地から出ようとしたという。

今回のビザなし交流は、10～13日の日程。12日に訪問団員から抗議が出て、北海道・根室港に戻った13日、丸山議員は記者会見で当時の発言について「団長に考えをたずねただけだ。交渉でわが国の立場を伝えていくのが当然と考えている」と語った。（大野正美）